

平成 30年 10月 17日

各位

会社名：ウインテスト株式会社
(コード：6721 東証二部)
代表者名：代表取締役社長 奈良 彰治
問合せ先：専務取締役 樋口 真康
(TEL：045-317-7888)

当社事業「パネルの故障等で低下した発電出力を補償する、
太陽光発電所の遠隔監視・出力制御システムの開発」に対する
「平成30年度 横浜市中心企業新技術・新製品開発促進助成金」の
採択に関するお知らせ

この度、当社で進めるもの作り事業である「パネルの故障等で低下した発電出力を補償する、太陽光発電所の遠隔監視・出力制御システムの開発」に対し、横浜市が、新技術・新製品開発に取り組む市内中小企業に対し、研究開発の準備段階から 販路開拓までを一貫して支援する「横浜市中心企業新技術・新製品開発促進助成金」2年目の交付対象企業として再採択されましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 補助金名および事業の目的

(補助金名)

平成 30年度横浜市中心企業新技術・新製品開発促進助成金 (SBIR)

SBIRとは“Small Business Innovation Research”(中小企業技術革新制度)の略です

(目的)

横浜市が、横浜経済の活性化、産業の高度化のために、先を見通し、将来の成長・発展につなげる布石を打つことを重要とし、市内中小企業における付加価値の高い技術・製品の開発や、市場規模の拡大が見込まれる新たな事業分野への取り組みが大切であるとし、市内中小企業の成長・発展に向けたイノベーションの促進支援として「中小企業新技術・新製品開発促進事業」を実施し、研究や開発に取り組む企業を後押しするものです。

2. 採択された事業

(1) 補助事業名

パネルの故障等で低下した発電出力を補償する、太陽光発電所の遠隔監視・出力制御システムの開発。

(2) 補助事業の概要

茨城大学と共同開発中の太陽光発電所の保守点検管理作業を効率化する遠隔監視・出力制御システムの開発と、パネルの故障や草木の影、汚れ等で低下した発電出力を、周囲の余剰電力を使い是正が行われるまで、補償する機能を持ったコンバータを開発継続し、今期は同システムの機能向上と不具合の是正、加えて同システムの保護回路の開発並びに実証実験を、実証実験場を建設して行う。

(3) 補助事業期間

平成30年2月1日～30年12月31日

(4) 補助金上限交付予定額

12,234千円

※同補助金予定額は、決定ではなく本金額を上限に下記審査後に確定いたします。

(5) 交付金額と交付時期について

当該事業の補助金額は、補助事業完了後、横浜市による審査の実施後に正式交付額が確定いたします。そのため、現時点では交付金額および交付時期は未定であります。また、交付額が決定した場合には、確定した補助金の金額を別途判明した時点で、公表いたします。

3. 今後の見通し

本件補助金を受領した場合、平成 31年7月期に営業外収益として計上する予定であります。交付金額が未定であり、また、当社連結業績予想への影響につきましては、平成 30年9月14日

公表の「平成 30年 7 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載のとおり、業績予想を精査中であるため、今後、開示が可能となった時点で速やかにお知らせいたします。

以上